（大正十二年十一月八日第三種郵便物認可）　昭和十五年八月二十二日　常磐毎日新聞　〔木曜日〕　第四千八百六十七號　【一】

常磐毎日新聞

日刊
夕刊 八月廿一日
定價 一箇月金[illegible] 廣告料普通一行[illegible]、特別欄一行[illegible] 日曜祝祭日の翌日休刊
發行兼編輯印刷人 [illegible]
發行所 常磐毎日新聞社 電話 六三〇番
印刷所 常磐毎日印刷株式會社 （振替口座）[illegible]

小兒科內科
酒井醫院
◉入院隨意（電話五五）
醫學博士酒井保
平市字南町

平市會の各派
本日解消の正式聲明
世話人を置いて今後に善處
懇親茶話會を開き和親の實

平市會が新政治体制に對應して從來の五分野新興會、革新會、平和會、市政會、一新會の各派を解消し全く政黨的の對立を清算して一致結合市政の進展に邁進すべき氣運が濃厚となり夫々折衝中の旨は既記の如くであるが各市會議員が本廿一日午前八時より市會議事堂に參集、野崎議長を座長に推して協議を進めた結果、先づ各派解消を異議なく決定、今後の所理及び市會の聯絡を圖る爲め各派から二名宛の世話人を擧げる事になりその顔ぶれを左記の如く決定

大谷武雄、川崎文治、金古政道、鈴木庫左右、荻原義雄、吉田寅之輔、多田井笑次郎、酒井清、藤田榮助、永山勇吉

次いで議員一同の名を以つて左議の解消聲明書を發したが近く日を期して一同の懇談茶話會を開き和親協力の實を擧げる事になつた

吾人は現下重大時局に鑑み從來の各派を解消し渾然一体新政治体制に順應し戮力以て平市政の伸展を期す

平市會議員一同

重要國策の基礎
十月一日の國勢調査

既報平市では十月一日午前〇時を以つて實施される國勢調査は戰時下における重要國策の基礎資料整備を目的としてゐるのでこの大目的の上に立つ同國勢調査をして完全を期すべく目下準備を進めてゐるが近く左の如き告示を市內各戶に配付することになつた

一、國勢調査は何の爲めに行ひますか

今回の國勢調査は、戰時下における重要國策の基礎資料を整備せんとする爲に行ふものであります

二、國勢調査は何時行はれますか

本年の十月一日午前〇時（九月卅日より十月一日に移る夜半）の現在事實を調べるのであります

斯樣に人の動きの少い時刻を調査期と致しましたのは、人口分布の常態を保たしむる爲でありますから、此實施期の前後に、各種の大會、總會の開催或は團體旅行その他人口分布の常態を激變する樣な催しは成るべく見合せられたいものです

三、國勢調査は何を調べますか

今回の國勢調査は從前の調査と同樣、我國に現在する人々に就て、內外人の別なく一人も漏らさず調査する外帝國版圖外に在る軍人等に就き左の事柄を正確に調べるのであります

一、氏名 二、世帶に於ける地位 三、男女の別 四、出生の年月日 五、配偶の關係 六、所屬の產業及職業 七、指定の技能 八、兵役の關係 九、出生地・十、本籍地 十一民籍又は國籍

四、國勢調査は如何にして行ひますか

國勢調査は、九月二十二日から三十日までの間に受持調査區內の準備調査をなし遲くも九月三十日の午前中に、各世帶に國勢調査申告書用紙を配付いたします、申告義務者は十月一日午前〇時現在の狀況を、正確に調べ置き午前八時までに申告書用紙に記入して國勢調査員に御渡し下さい

五、國勢調査につき皆樣に御願すること

此調査は、調査員其の他の係員が如何に熱心に之に當りましても、それだけでは充分ではありません、全國民の一致協力あつて始めて完全に調査の目的を達する事が出來るのであります、又皆樣の申告した事を絕體に他に漏してはならぬことになつて居りますから安心して申告せられ前回の調査に勝る好成績を擧ぐる樣御協力を御願いたします

平堀完成
鮫川江支線

既報植田地方の食料增產を確保する鮫川疏水路の竣工式は二十九日執行されるがこれと共に平堀の疏水路が完成近く通水式が擧行されることになつた

平堀疏水路は川部、山田、錦の一町二ケ村の山間地帶の水田五十五町步を灌漑するもので川部村沼部地內から鮫川の水流を引き入れ峻約七十間を切り開いたもの、鮫川水路の比ではないが地方民の利益は大きい

麥作は十數年來
記錄破りの豐作

石城郡下に於ける今夏の麥作は十數年來の記錄破りの增產といふ時局下銃後の農村を微笑ます明朗篇……石城郡農會では過般來より郡下三十二ケ町村に於て大、小麥の收穫を調査中二十日纏まつたので縣へ報告したがこれによると大麥は十年來の記錄を破つて三倍、小麥はこれまた二倍といふ稀有の增收を見た、この明朗な數字を現したのは全く天候に惠まれた結果によるもので關係方面でも少なからず喜んでゐる

錦心流琵琶

錦心流琵琶皆水會は廿四日午後五時から平市公會堂に宮原輝水氏の歡迎琵琶演奏會を催すと

小名濱支局通信

水戶、東京、橫濱一巡記

支局長 小野務平

▽末子は 可愛もの△

熱塵を避けて田舍を目當てに歸省するもの多い盛夏の折に爽凉の地小名濱海邊を後に熱塵の巷に向ふと逆コースを取らねばならぬ不幸さを考へると世の中はホト〲厭やになるが、『上の上限りもあらじ我よりも下の下なる人を見るべし』と一休和尚らしい口調で誡められた狂歌に勵まされて遂に水戶、東京、橫濱の炎熱恰も釜中に生すると均しき紅塵の中に一巡を試みる事になつたのも非常時なればこそである。

水戶は末子昭の茨城中學に入學した關係で幾回か訪問した、回の重なるにつれて義、烈、兩公の遺風が幾百年後の今日各學校を通じて遵奉して居る事に如實に發見し得た私立中學でありながら共生徒に對する身心鍛錬の行き屆ける點に於て縣立校など殆と三舍をも避けると云ふ精進ぶりに敬服を禁じ得ないものがあるこれ云ふまでもなく水藩は昔から文國として、文に武に何れも特長を持つ長所が發頭するもので、是の尊ふべき遺風は公私を問はず、共流れを掬むと云ふ傾きが澎湃として居る。

處で普通一般中學校は七月二十日頃から夏季休暇を與ふる事になつて居るが、茨中は十六日から一週間勤勞奉仕に身体を鍛い二十四日から三十一日まで休養、更に八月一日から一週間運動稽古の爲に召集、八日から十八日まで休養、更に十九日から二十四日までが學術方面の鍛錬として召集を受けて居る。

勤勞、運動、學術、實に三回に亘つて召集し、共時局下に於ける生徒に充分認識を與へ以て身心に一段の緊張と鍛錬とを與ふる處に私立としての一大特長があるのではあるまいか。

この召集に應ずる茨中生は十八日朝一齊に應召せねばならなかつた、記者は末子である昭の此の健氣さに絆され東京行きを幸ひに七十七銀行小名濱出張所の櫻井主任の曹子と拉して十八日午後六時五十六分發で泉驛を出發したのであつた。

十八日は舊盆十五日で他の少年達ちは正月と盆との昔人日にスポーツよ何よと、遊び戯むる中に彼等茨中生は聊かも厭氣もなく吾然と召應せんとする共の覺悟は、よし事は少なりと雖もその雄々しさを見るにつけ心から彼等のこの前途を喜ばずには居れなかつた。

殊に末子は可愛いもの、よし共に行こうと同道を致すのもこれが爲めで彼等も亦幾分の力となつた事であらうと思はれる、然し汽車は舊盆十五日だ、共滿員さぶりは全く立錐の餘地がないウル〱して居ると踏殺さる恐れさへあると云ふ超滿員である。

手荷物を携げた櫻井を伴とは手洗室に共混雜を避け、僕は中央に進んで空巣を狙つた漸くにし勿來驛で空席を見つけ三人で二人の座席に憩ふと云ふ事に甘んじ共空席を待つたが遂に水戶まで空席がなかつた、などは共如何に舊盆と云ふ行事が甚いとか何とか云つても又々どうにもならぬ事を深く實驗するを得た事を遺憾とするが萬已むを得ない樣な氣がした。

彼の下宿たる水戶市沙久保四九〇四の小川家を尋ねたのは午後九時と云ふ眞夜中であつた。

（續く）

增產獎勵の協議
大麥の水田二毛作

縣では來る二十九日午前九時から平團体事務所に平市をはじめ石城郡下各町村技術員並に農會技術員を集め農事協議會を開くが當日は縣から遠林經濟部長、岩瀨農務課長以下農務課各技師出席、戰時下大麥の水田二毛作增產獎勵をはじめ農事各般に亘る左記事項を縣から指示しこれを徹底させることになつてゐる

▲大麥增產獎勵＝十五年收穫反別一萬三千八百五十三町步を最低限度とし水田二毛作、大麥反別一千八百七町一反步の倍加運動を起す

▲麥類供出＝政府買上以外に大口需要者への割當があるので可及的速かに完了すること

▲肥料配給統制＝秋肥の配給は縣の配給統制要綱によつて配給の圓滑適正を期すこと

▲自給肥料改良增產及び施肥改善＝水田、桑畑、果樹園の冬期綠化を目指し四萬町步に亘る紫雲英の大增產をはかり綠肥百貫匁が大豆粕一枚または魚肥五貫目の代用價値があることを認識せしむ

▲農業用資材配給統制＝窮屈な配給の上にも農器具、硫酸銅、其他農藥配給の圓滑適正を期す

▲次年度用甘藷、馬鈴薯種苗

▲必要疏菜生產確保目

▲水陸稻耕種改善實施督勵農業經營指導農場督勵

▲麻類增植並に供出

▲水稻溫床用資材

▲米穀供出促進＝政府未納米七萬九千石については廿二日から一週間に實施する米穀供出強調週間中鄉倉や餘裕米所有者に對し男女靑年團、警防團、國防婦人、產靑聯などの援助を求めて目的達成に努めること

“水產福島”の……
氣を吐く磐城各濱
全國漁業界が注目

石城各濱は傳統的に鰯揚繰漁業を主とし漁獲高は全國一と稱されてゐるが近年遠洋漁業へと進出既に江名町吉田豐吉氏所有船盛厚丸（九〇トン）他四隻、小名濱町東日本漁業會社所有船東日本丸（一二〇トン）第二東日本丸（九〇トン）其他一隻がビン鮪、鰹、秋刀魚等の漁撈に從事いづれも好成績を收めまた東日本丸は三崎港を根據地に南洋漁場に活躍するなど水產福島のためにつとめ更に續々遠洋漁船が新造されその進展は全國漁業界の注目を覓めて居る

小口貨物の取扱
平驛が制限点を揭示

平驛では國鐵貨物の激增に伴ひ九月一日から小口貨物の取扱ひが左の如く制限されることになつたので早くも驛待合室に揭示一般の注意を促してゐる

一、宅扱ひ、小口扱ひ兩貨物は出貨の前日正午までに申告して承認を受けてから持込むこと

二、特に混雜してゐる日は日時を指定することがある

三、但し鮮魚その他急送品は特別に取扱ふ

調査指導訓練會
平市及び郡下の日割

（別項）十月一日午前〇時を期し實施される國勢調査を前にこれが指導訓練會は各地で開かれるが平市及び石城郡下各町村の日割は左の如くである

△八月二十八日（赤井第二校）赤井、川前、上小川、上小川組合△二十九日（平市公會堂）平市、神谷△三十日（好間小學校）好間、永戶、箕輪、三阪、澤渡△三十一日（內郷小學校）內郷△九月一日（四倉小學校）四倉、草野、大浦、大野△二日（高久小學校）高久、飯野、夏井△三日（小名濱校）小名濱、江名、鹿島、玉川、豐間△四日（湯本校）湯本、磐崎△五日（上遠野校）上遠野、入遠野、田人外三ケ村組合△六日（植田校）植田、泉、渡邊、山田、錦、勿來、川部

呉羽映畫會

錦町の呉羽紡績工場では舊盆中の行事として今二十一日映畫會を催したが明後二十三日は從業員の演藝大會を催す

銃後の一役
製粉會社
湯本へ設立

湯本町助役矢吹莊次氏外數名は銃後生產力擴充陣に一役を勸めるため今度磐城工業製粉株式會社を設立することになつたが資本金は十八萬圓で敷地は同町水野谷地內に決定された

方面委員會

平市の方面委員會八月例會は二十七日市會議事堂で開かれる

平劍士惜敗

既報武德會本部主催地方靑年團對抗劍道大會は二十日仙臺市武德殿で開催されたがこれに出場した平靑年團は第一回戰に宮城縣黑川靑年團と對戰3－2で惜敗した

千五百圓を拐帶
人妻何へか逃走

好間村大字小館炭礦坑夫久保田久作（四三）さんは妻のコイス（四五）さんが舊盆入りの十七日平市へ買物に出たまゝ歸らず後で調査した結果現金千五百圓に自分の衣類等持つた儘家出したこと判明したが行先がわからないからと今二十一日平署へ搜索方を願出た

堅坑內に眞逆樣
足踏み滑らした運轉手

小名濱町字岡小名湯本小名濱軌道運轉手丹野毅君（二八）は二十日朝磐崎村小野田炭礦堅坑扇風機場附近を步行中足をすべらし地下二百尺の堅坑內に墜落慘死した

政府木炭
供出の協議

濱三郡木炭同業組合では政府木炭供出に關し二十二日平團体事務所二十三日双葉郡富岡町團体事務所で關係方面の協議會を開く

頰刺實情
農林省陳情

魚價の高騰を抑制國民生活の安定を期して先づ十六日から干魚類の公定價格が實施されたがこれに對し小名濱町頰刺加工組合では今二十一日伊藤組合長他組合員が上京農林省に實情を訴へ陳情した

相撲部
炎天下稽古

縣下中等學校相撲大會における前年の覇者平商は今年も連勝を目ざし連日炎天下血みどろの練習を行つてゐるが出場選手は左の如く決定された

荒木敏夫、吉田政司、滑水金男、寺門武彥

小名濱弓道

小名濱町における今秋の明治神宮体育大會縣豫選大會への弓道出場選手はこの程左の如く決定された

小野直千賀、染花清、齋藤義男

平市人事

出生 △南町七〇小川山雄氏長女龍子さん

ラヂオ

今晩の部

▼後六、〇〇 子供の時間 童話劇「王樣ライオンの眼鏡」（二）劇團東童（伴奏）東京放送管絃樂
▼後六、二五 講演
▼後七、二〇 鄉土に寄する言葉 ポリドール專屬歌手上原敏
▼後七、三〇 國民歌謠「用心づくし」（指導）杉山長谷雄（合唱）日本放送合唱團
▼後七、四〇 新日本音樂 一、砧 二、水の變態 第一箏宮城道雄 第二箏牧野喜代子 箏本手宮城道雄 箏替手牧野喜代子
▼後八、〇〇 連續講談「伊勢の初旅」（一）神田伯龍
▼後八、四〇 文化錄音風
▼後九、〇〇 水曜講話「勞働の喜び」文學博士天野貞祐
▼後九、三〇 朗讀「津波と人間」

明日の部

▼前五、三〇 吹奏樂…橫須賀海兵團軍樂隊…東京派遣所より中繼 海軍々樂隊
▼前七、〇一 物語「支那近代史」文化史（九）奧野信太郎
▼前八、〇五 小學生の時間、トミチヤンのオツカヒ 一、せんたくごつこ 大道清子
▼前九、四五 幼兒の時間 グングンアソビ 牧野朝子
▼前一〇、二〇 家庭の時間「外米食向きのお惣菜」佐藤露子
▼後〇、〇五 マンドリン合奏 東京プレクトラムンサトニテイー
▼後五、三〇 中等學生の時間 連續劇「姉妹の日記から」ドウゲキ
▼後六、〇〇 子供の時間 吹奏樂…日立第一工業靑年學校（音樂指揮）谷村正光
▼後七、一〇 鄉土に寄する言葉 日本車輛製造會社長三瓶勇佐
▼後七、三〇 國民歌謠「用心づくし」（指導）杉山長谷雄
▼後七、四〇 ヴアイオリン獨奏
▼後八、〇〇 連續講談「伊勢の初旅」（二）神田伯龍
▼後八、三〇 十分間演藝 ほがらか日記一吾家の新體制 小島洋々ほか
▼後九、〇〇 ラヂオ風景「從」高橋欣之介作、三津田健ほか
▼後九、三〇 朗讀 思索のひととき「凉味線香花火」吉村冬彥作、館野アナウンサー

自動車運轉手
女車掌
數名募集
年令不問、希望者至急御來所乞ふ
給料其他委細面談優遇す
芹澤自動車商會
平市三丁目、電話三九五番

夏！ 夏!!!
例年通り冷い美味しい飲食はじめました、皆樣今年も何卒宜しく御願致します
アイスクリーム
あづきアイス
みつ豆
ソーダ水
其他各種

平三菱寮前通り
魚淸食堂
電話六五五

[illegible]劍傳

第百五十四回

仇は討つて取る

[illegible]殿の御前のうちは[illegible]次郎を[illegible]る理子もありましたが、殿々と[illegible]切な御主に御心したと見えまして「それでは腑さず討すべえ、旦那樣聞いてくらつせえ世の中にこの坊ちやまほど娘の[illegible]な方はムえさすめえ……」と最初からの仔細、仔細かに語り出した。これは所役になりますから改めて申上げません、聞いたのは櫻井民次郎

「何と申すか新[illegible]九郎兵衞と申す渡人物が、殿の御に乘込み主人を殺害し、[illegible]り取つたのであるか」

「ハイそれに違えムえません」

「シテ九郎兵衞と申すのは生れは」

「何處だか確かな所は知りませねえだが、何でもハア山形とか申したやうで」

「何、山形の生れ……ウム」

もう疑ふ所はない、江戶御田[illegible]御町の腰住田が迎れ出で左樣な屈に身を潛めて居つたか左樣な事とは知らずして奧州まで[illegible]ねて[illegible]つたのは此方のぬかりであつた。それにしても[illegible]江の城下小[illegible]の缺で我が宿命を占ひ見た[illegible]ト翁の[illegible]聞れ入つた[illegible]り胸中に[illegible]き且つ戒しながら

「左樣か、いや[illegible]いたすな、さる惡人は一時もさし措いては、世の爲にならん、此方が乘り込んで惡人を取り抑え、仇昔とやらの家[illegible]拙者[illegible]ず[illegible]ひ返して遣はすぞ」

と言つたので[illegible]さん[illegible]りして喜んだ、小供ながら[illegible]も倶々に喜んで

「旦那樣どうぞ宜うしうお願ひ申しまする」

と兩手を合せて伏し拜む。[illegible]部は其のいたいけない姿を見て己の仇は忘れ、いとゞ不憫が增し、何と言ふ[illegible]な奴か、我が兒を[illegible]いたしたばかりか所かる不[illegible]な小兒にまで所く[illegible]目を見せるとは[illegible]くまでも[illegible]と[illegible]けず[illegible]奴の[illegible]を[illegible]りしめて

「オ、お聞いたすな、其方の仇は必ず討つてやるぞ……これ老爺、明日にでもなればその新田[illegible]とやらへ案內いたせ」

「ヘエ〱それはもう只今からでも案內いたしとうムえますが、何と申すにもとの姿で……」

「イヤ其方の所は一[illegible]儂が引受けてやるぞ、これから儂の宿まで同道いたせ」

「ヘエ、旦那のお宿まで參えりますんで……それではチヨツクラお暇乞ひをいたして參えりますだ」

「あゝ良いとも乞食に[illegible]親分はあるか」

「ヘエ今もお話し申しました[illegible]が此の宿の旅籠[illegible]屋から[illegible]で迫出された時[illegible]にして助けてくれた大[illegible]ある親方でムえます」

「ツシ乞食の親方にもそれだけの[illegible]はある、九郎兵衞は何と[illegible]な奴であるか顔をこれへ呼んで[illegible]から改めて[illegible]を申し[illegible]」

「畏まりました」

[illegible]の翁の六右衞門初め[illegible]間の[illegible]を呼んで來た。

「お[illegible]樣、今お話し申した旦那と云ふのは此のお方でムえます」

「ア、その方が頭であるか」

「ヘエ」

「爺れは[illegible]なる老人と小兒が無[illegible]の宿から[illegible]出されたのを助けてくれたとやら、[illegible]と[illegible]な事である。拙者は[illegible]との老人と小兒には[illegible]のないものであるが聞けば[illegible]に不[illegible]な身の上[illegible]ら[illegible]ならば人の[illegible]め世の[illegible]めに以前の身分にして遣はしたいと[illegible]ふのである。就いてに これまで のほんの印。其の方へ遣はすから」

[illegible]懷中から五兩取出して六右衞門に渡した。

「どうも有難うムいます、私は[illegible]く[illegible]は[illegible]いませんが、[illegible]のお志し、仲間の奴等に分けてやります……ヤイ[illegible]の奴等[illegible]旦那樣へお禮申せ、お前等へやつてくれと仰言つて五兩と云ふ大金を此の旦那樣が下さつた、これへ出て一人〱禮を言へ」

「ヘエ、[illegible]なら[illegible]の方ちや[illegible]さ日に何百[illegible]か知れねえ、だがいつも一文か二文のお[illegible]だ。五兩の[illegible]は[illegible]の代から乞食をしてゐるが、[illegible]の[illegible]つて言つたことがねえ、[illegible]旦那が[illegible]から一つ[illegible]はしてくれ」

○これも一策

日向水を心がけて作りませう 洗濯や行水に使へば相當燃料の節約になります

科學日本の女性よ

隈田米子

六十になる手傳ひのお婆さんに、たうもろこしの丸ゆでをたのんだら「じやがいもの丸ゆでは、四十分がちようどよい加減ですが、たうもろこしは何ん分にいたしませうか」とたづねられてがく然とした。日本女性に科學的資性がない、と誰がいふものぞ、何の奇もない市井の老婆さへ、かくも明確な態度のあり得るものを。

いつたい、子供が物心つき初めたころの質問が、いかに科學的に鋭く、小學校ではじめて理科を習ひはじめたころの好奇心がいかに強いか、私は痛感してゐる。この幼時において、男女の差別なく鋭い科學的資性を、涵養に育てぬばかりか、むしろ蝕み枯らしてゐたのが實に今までの教育であつた。最近、ドイツ落下傘部隊の訓練の實寫を見、かつヒツトラーが「ドイツ國民には、一戸に一臺の自動車を」とまでおもんばかつてゐた（川上資市氏獨逸の眞理）との記事を讀んで、全世界を驚かせた電擊戰も、決して偶然となつたのでないことがうなづかれた。

しかも、私の一箇月の支那旅行では、支那のアマが案外科學的で、たとへば、この家の奥さんは何時何分に起きれば間に合ふ、といふやうな頭の働かせぶりに、侮れぬものを感じてきてゐる。

この際、われらの日本女性たり、母たるもの ゝまづその各々の家を、子を、科學日本の新體制の前衛部隊たらしむべく、決しておくれがあつてはなるまい

女よ・口に固き戸を
「スパイのかげに必ず女あり」
識者が特に婦人に警告

女がスパイに利用されるのは、外人崇拜——外人を友だちにもつことにほこりを感じる氏が強い點にまづ危險が生じます、たとへば外人が男に道をきくのと、女にきくのとでは、女の方がはるかに親切で外人にいはせると、日本の女は「私に道をきいて下さつてありがたう」といふ態度であるといふ

：不良外人 の例であるが銀座通りで通りすがりにあるショップガールにウインクすると、女は服部に笑つたのに乘ぜられお茶をのみに行き、次いで誘惑された實例があります、それがスパイだつたらどうでせうか？また上流の有閑階級の女が、外人のパーティーなどに招かれて、「イエス」「ノー」の英語だけでもしやべれば得意になる傾向も多分にあります、スパイはその機會をとらへて、社交から家庭へ喰ひ込み、徐々に利用しはじめます

：この頃の スパイは非合法的に組織された手段を用ひてゐることをまづ知らなければなりません 實例的にこれを示せば、外人と交際を始めた女は、まづ映畫などに連れてゆかれ、だん／＼なれるに從つて地方旅行へ、それも外人のことですから主に自動車で、女を助手席に乘せてゆく、女はこれで喜んでしまひます、女は聞かれることを道案内のつもりでしやべるが、更に外人はこの女を使つて、土地の人に詳しいことを聞かせる

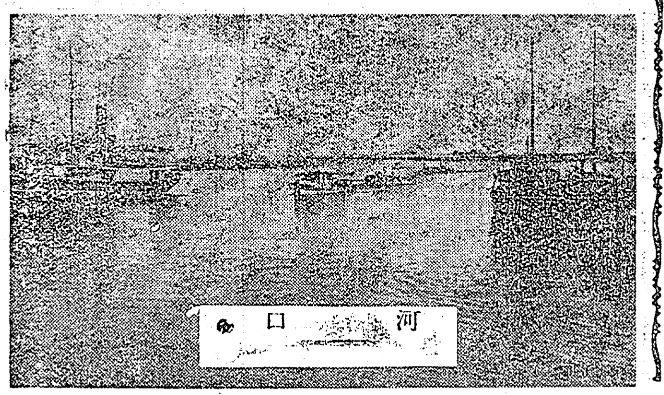
：土地の人 は質問者が女であることに氣をゆるして、軍事施設要塞などのことまで隱蔽なしに說明してしまふといふことになるのです、さてその次のドライヴの時には、女の方から外人にとり入るために、まづもつて行先の沿道に關する事情をしらべておいて、自分から自慢して話すやうになります、相手はこれを知つてゐるからうまく仕向けて利用するのです、これは米國武官が使つた手です

：そのほか 外人があるダンサーを計畫的に妾にして、その女に準備店を開業させ、その二階をアジトにしてゐた例、英語教授を職業に、主に家庭婦人を餌に、その夫の職業を通じてスパイした例など、手段は實に多角的です

日本の女ならば、日本人としての自覺を持つてゐるはづですが、不注意な行為がもとになり、殊に肉體的に、籠絡されると一切に麻痺してしまふ結果になるのです

：外國人に 對しては國際親善の半面と同時に、常に危險な半面のあるのを考へてゐることが必要です

前にもいつたやうに、近代的スパイは合法的です、目的に導くべき日常工作を深刻に組織的にやることによつて、彼等の觸角を活動させるのです、また直接の場合でなく、手先も非常に多いのですから結論としては「こんなことぐらゐはしやべつても……」といふ輕率な考へ方をせず、またはつきりと考へをきめ、各自が自戒する外はありません



河口

どこまで祟るか
便秘の慘害

如何に便秘が我々の健康を害ねるか、右に述べた程度でもお判りでせうが更にせつ那にして生命を縫ふアノ怖るべき腦溢血や心臟麻痺も便秘に起因することが少くないと申したら、定めしおどろくが少くないでせう。

然し、實際に糞便毒が血管を硬化し、血壓を高め、且つ心臟の機能を弱らせることは、既に醫學的に明らかにされた通説で動脈硬化や血壓亢進、動悸、息切れに惱む方に便秘癖がすくないことでもうなづかれます故、健康増進を希ふためには、まづ第一にスグ便を正しい便になほすことが何よりですが、わが製藥界の代表的存在たる[illegible]製藥が斯界の權威醫學博士[illegible]郎先生に依頼して研究すること實に十八ヶ年！遂に完成した「ミクローゼ」こそ、日本人の食物と體質に最も適合し、多種多樣の効果を持つた劑生劑で、中でもこの怖るべき便秘症を一掃する卓效の性能をもつた藥であります。

即ち「ミクローゼ」の主成たる各種ビルツは酵母以上に強力なる消化酵素を胃腸内で生産し著しく消化吸收作用を旺盛ならしめると同時に、腸内腐敗の防止、醱酵を防ぎ、且つビタミンBと協力して、その綜合効果は弱つた胃腸機能に活力を與へますから、身も輕々とサツパリする快心の便通を齎します。

論より證據「ミクローゼ」を服み出すと、食慾がグンと増すのは消化がよいからで、毎日溜りだした惡便に惡臭がなくなるのは、腐敗を作る有害菌が一掃された證で、身も心も輕く元氣に溢ち、肌の色艶が張り切ります。是非今急くハガキで申込むと試驗無代進呈中故非常にスグお試しになることができます（廣告）

スフ・人絹が非常に強くなる！

◎純綿同樣強くなる

ワイシヤツ・浴衣・婦人洋服・足袋・靴下、帆布類、スフ、人絹繊維品の[illegible]・防水・防縮に絶好の藥劑

大日本紡績聯合會 各大學研究所 商工省・加工試驗所 [illegible]

（[illegible]）

一箱三十五錢

發賣元 [illegible]

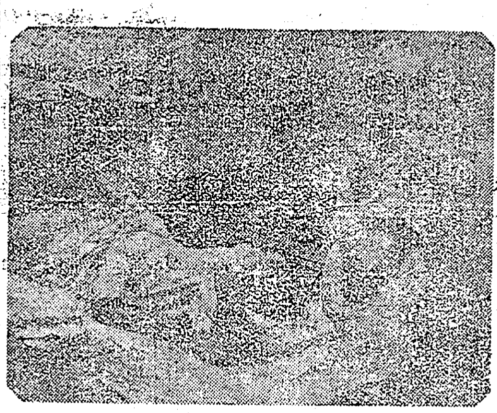
部國化學研究所

鍋フタのしまい方

鍋はくぎにかけるか伏せておくのが鍋のためによいのですが、この場合、鍋ぶたのおき場所にこまるものです、仰向きにすればごみがかゝりますし、ふせておけば鍋のごみがつきます、かういふ時には、鍋のすみにみかん箱を横向きにおき中に二まいほど菓子箱のふたでも立てかけておく、場所もとらず、ほこりにもならずよく片づきます

水枕の入れ方

水枕に水や氷をいれたとき、これと一しよに空氣がはいつてゐますと、空氣はいつでも水の上にあるものですから頭をのせると冷めたさが直接感じられず、空氣はすぐにあたゝまるので何にもなりません、枕に水を一ぱいいれて横にして平手で水と空氣をおし出し適量の水をのこして栓をしまふと空氣は決してのこりません



家庭醫學

血液をキレイにすれば

原因不明の病氣は……

不眠・頭痛・耳鳴・吹出物・抜け毛・肩凝り・しびれ・中風・神經痛・高血壓・痔疾・便秘等……こんな筈はないが！と思はれるやうな原因の判らない病氣は神經衰弱か又は過勞や飲酒・不攝生から來る血液内の汚濁が、原因してをるのです。これを治すのは先づ血液を淸淨にしなければならない。それには最近東京の花柳界、歌舞伎の大評判の「淸道」といふ藥が一番よいその效力は眞に驚くばかり。どうせ治療なさるなら先づ第一に試してごらんなさい。[illegible]一圓、[illegible]二十錢、外地四十二錢です

東京市本所區業平橋一丁目十五
振替東京九三七一六番
漢方藥研究所

暴風地帶

横井北道作

第六十二回

壞れし球（十二）

「[illegible]かう！」

すさまじい響きと共に、白い煙をまき立てゝ、自動車が走つて行つた。」

龍二は殘された煙の中で漸く我にかへると、足をはやめた。

家へ辿りついてからも、なほ圭子のことが念頭から離れなかつた。

「何うかおしかへ？ 顏の色がよくないやうだけど……」

母が心配さうにたづねた。

それほど彼の調子は沈んでゐるのだつた。

「いゝえ、何ともありません。少し眠り過ぎたものですから頭痛がするのです。けれどもこんなの一眠りで直りや、じきになほつてしまひますよ」

彼は何時もの[illegible]強ひて元氣に云つた。」

「さうそれならいゝがね。どうもこの頃、[illegible]がはやりますので、用心しないと、いけませんよ」

「えゝ、大丈夫」

「大丈夫って油斷がいけません。早くおやすみになつた方がよいですよ」

母の口癖だ。云はれるまゝに龍二は自分の部屋へ入って床をのべて横になるのだつた。」

だが、横になつても眠られるものではなかつた。かへつて眼がさへて來るのだつた。」

——圭子さんはほんとうに僕を愛してゐてくれたのではなかつたらうか。」

久しくその不安へ心が奪はれて行つた。

——自分が愛してゐればこそ鄕里から連れて上京したのであるといふ、愛してゐればこそ、一旦は彼の許を訪れたのでは彼のものに見つけ出されるから自分の[illegible]をひそめてゐる。」

彼女は自嘲でさう云つて泣いてゐる。」

けれども圭子が龍二を愛してゐるものとすれば、どんな方法を講じても出來る筈なのに、彼女にそれをしやうとはしなかつた。[illegible]になつてゐるより、他にいくらでもかくれて作業してゆく道があるのに、何故彼女は[illegible]になつたのか？——龍二はいくらでも疑はしいことがあつた。

東京へ逃げ出して來てから、[illegible]の日數が經つてゐるのに[illegible]をくれたきりであるのもおかしい。」

「[illegible]の生活といふのはどんなものであらうか。」

彼の[illegible]から押しては到底[illegible]ることは出來なかつた。」

只龍二はその小說でおぼろげながら、さういふやうなものか位を察するにすぎなかつた。

そのおぼろげな想像は、決して彼の心をなぐさめるやうなものではなく、只、只、不安を募らせるばかりであつた。」

兎に角、[illegible]の風俗は、龍二の心に不安を抱かせるだけであつた。」

圭子があんな風に職業をやつてゐたと思ふことはたへがたい苦痛であり侮辱であつた。

「とても、はやりつ放でございます。[illegible]でございます」

といつた月よしの女中の言葉が再び、ひやかんで來た。」

花柳病科
婦人科
產科
専門
▼入院隨意
井坂醫院
◉見習看護婦募集
平市田町 電話五五九番

◎國民擧つて防火塗裝を！
□危險に暴露する木造家屋
□手輕るに出來る防火家屋
□太陽無機コロイド防火塗料の特長
1、太陽無機コロイド塗料は殆んど絶對の防火力を有す
2、粘着力が非常に強く木材によく密着します
3、既設家屋に自由に施工が出來ます
4、刷毛にて簡單に施工が出來ます
5、價格が低廉で經濟的です
6、塗面が汚れた時には水洗ひすると直ぐ綺麗になります
7、工業試驗所は本品の防火力を一、二五〇度と御證明下さいました
□大量使用御考慮の方及び團体的御申込みへは實驗の御希望に應じます
カタログ進呈
太陽無機コロイド販賣店
山田文一商店
平市仲町通り 電話二六二番

お知らせ
一、此の度東都名流美容師を招きまして銃後女性に最も相應はしい永久性淑髮（パーマネント）を八月一日より始めましたどうぞ御利用下さいませ
一、毛髮を傷めぬ高級藥品を使用致しまして充分御滿足頂ける樣努力いたします
一、料金 毛先 三。五〇 全髮 四。〇〇
お好みにより部分的にもおかけいたします
平市田町五〔自宅電話三六八番〕
研美院

宴會、御婚禮、仕出し
京割
尼子亭
……お湯の設備あり……
女中さん至急入用
公園内 電話二三〇番

喜多流謡曲と仕舞のお稽古を奬め致します
入會隨時
平市田町六九
喜多流謡曲仕舞
白土會
電一二七番

夏物は！
是非當店から
（在庫豐富）
玉屋洋品店
平田町通 電話六五六番

保險は帝國へ!!
帝國生命
平中央代理店
◉御報次第社員參上

◎輕油 不足ナラ
◎洗滌油
專賣特許
千代田液洗油
御使用願ヒマス
自動車部分品、機械、活字インク、タール食堂ノ皿デモ、ウエス再製デモ
油類なら何んでも綺麗に洗滌剝脱が出來ます
少量でも御屆致しますから是非一度御使用下さい
平市堂ノ前
淺野孝治商店
電呼（四一番）

これは便利！
▼手を荒らさず
▼絹、毛織物、木綿、スフ生地を傷めず
▼つけておくだけで洗へるおちのよい
㊮マルミ粉末石鹼
製造元 平市材木町十一番地 電話(呼)四〇八番

男女車掌募集 數名
年齡16……19
未經驗者ニテモ可
給料其他委細面談
平市驛前
野崎交通自動車株式會社
電三四三・三四〇

開院
外科一般 內臟外科
整形外科 肛門病科
性病科 レントゲン科
平市南町（平郵便局本局裏通り）
上田外科醫院
院長 上田耕作
電話一九二番

產科
婦人科
專門
平市南町
根本醫院
（入院隨時）
【電話三四番】

吉田眼科醫院
平市紺屋町 電話六八番
醫學士 吉田久雄

◎女車掌
（三名至急募集）
1、未經驗者ニ限ル
2、委細面談
3、優遇ス
平市二丁目
三井タクシー
電六八五番

メガネは！
平市二丁目
玉屋

洋酒と喫茶
麗人のサービス
氣分本位の店
タヒラ・ギンザ通り
グリル バツカス
電七〇二番

提灯と國旗
[illegible]